

CONTENTS

大阪消防 8

表紙：“新” 消防艇まいしま

01：コンテンツ／災害概況	24：実録!! 調査鑑識
02：特集 2025年 大阪・関西万博 ～【大阪ウィーク～春～】開催～	26：We are Rookies！
06：特集 新消防艇「まいしま」就航!!	28：大阪の消防NEWS
08：特集 違反対象物管理アプリ - 後編 -	30：消防出張所ビフォーアフター
10：ココ改善！	31：ふるさと日記
11：淀橋広子の広報講座	32：落語DE火の用心
12：コマンドアイ	33：健康ダイアリー
14：ケイボウタイムズ	34：【職務】「移動タンク貯蔵所」について
16：明日に備えて過去に学ぶ	36：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
17：人材育成のヒント	37：現場に活かす！救急救命士国家試験問題
18：イクキュー	38：消防漢字ガール
20：Just do it！	39：MY★ライフハック/救急安心センターおおさかだより
22：救急いろは	40：アニマル環状線／編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
6月中件数	2	2	6	32	42	3	0	0	7	52
令和7年 6月末累計	14	10	85	205	314	14	0	0	47	375
令和6年 6月末累計	8	13	94	184	299	21	1	2	39	362
累計比較	6	▲3	▲9	21	15	▲7	▲1	▲2	8	13

◎救急概況

	救急出場
6月中件数 (概数)	21,299
令和7年 6月末累計	128,923
令和6年 6月末累計	129,428
累計比較	-505

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他
令和7年 6月末累計	2,201	659	0	615
令和6年 6月末累計	2,200	634	0	555
累計比較	1	25	0	60

いっしょに、いこな！ \2025年 大阪・関西万博／ ～【大阪ウィーク～春～】開催～

いっしょに、いこな！ \2025年 大阪・関西万博／ ～【大阪ウィーク～春～】開催～

一日大阪・関西万博消防センター所長 イベント活動報告



一日センター所長
内藤剛志

橋口局長

下正所長

司会
森寧々さん

火災調査出前講座



会場内で使用する場面が多いモバイルバッテリーの火災について注意喚起されました。また、トラック火災の説明を受けて、「イベント中やけど今から帰ってコンセント確認するわ」と会場を笑いで包む場面も。

未来の消防活動の紹介



未来の消防活動の映像や資器材の紹介を受けると、「科学が進歩し、多くの方の命を救うとともに、隊員が安全に活動できる未来になってほしいですね」と隊員想いの熱いコメントをくださいました。

大阪ヘルスケアパビリオン巡回視察

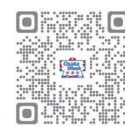


大阪ヘルスケアパビリオンを視察後、避難口誘導灯などの設置状況を確認した一日センター所長。リポーン体験では、25年後の自分をご覧になり「歯は健康でAランクでしたよ」と芸能人らしいコメントも！

救急広報・火災予防広報



防火標語「言うたやん 燃えたら消える 思い出も」を来場者へ紹介。「万博の思い出も消えないようにせなあかね。いい標語やわ」とお褒めいただきました。また、会場内の給水スポットの説明を受け、熱中症予防についても広報されました。



大阪ウィーク
～春・夏・秋～
公式サイト

開催期間

【春】5月9日(金)～5月18日(日)
【夏】7月24日(木)～8月3日(日)
【秋】9月4日(木)～9月17日(水)

今回開催された「大阪ウィーク」は、万博開催期間中に大阪府・大阪市が主催する、大阪の魅力在国内外に発信することを目的としたイベントです。
「祭をテーマに、大阪・関西万博会場内の様々な場所で大阪ならではのイベントが、春・夏・秋と3回開催されます。」

「大阪ウィーク」について

これまで万博会場における大阪市消防局の様々な活動についてお伝えしてきました。今月は、5月9日(金)に大阪ヘルスケアパビリオンステージで開催されたイベント、大阪ウィーク「春」未来の消防活動の展示の様子を紹介します。

大阪ウィーク「春」

「未来の消防活動の展示」を開催



俳優 内藤剛志さんが

「二日大阪・関西万博消防センター所長」に就任

「大阪ウィーク「春」」の初日に開催されたイベントにおいて、大阪・関西万博消防センターの一日所長に就任された内藤さん。普段はドラマなどで刑事役のイメージが強いですが、消防の仕事は初めてとのこと。大阪市出身ということで、「初めての消防の仕事が地元大阪で何よりも嬉しいですね」とおっしゃっていました。

内藤さんは一日センター所長として、万博会場内で実証実験中の資器材や車両をご覧になったほか、予防救急や火災予防について、担当者からの説明を熱心に受けられていました。また、ステージイベントでは、普段は自宅を出る前にチェックリストを使用し、コンロの切り忘れなどを防止している、ご自身の防火対策も紹介され、ユーモアを交えながら来場者の皆様に予防救急や火災予防について呼びかけていただきました。

大盛況となった一日センター所長イベント。ステージイベントに加え、未来の消防活動の展示や万博のサブテーマに沿った体験コーナーの様子についてもお伝えします！

いっしょに、いこな！ \2025年 大阪・関西万博／ ～【大阪ウィーク～春～】開催～

「いのちを救う」



万博救急隊による活動展示

そのほかの
イベントも
盛りだくさん

「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」

今回の万博のサブテーマに沿って様々なイベントを実施しました。9月に開催の「大阪ウィーク～秋～」でも様々な企画を準備して皆様をお待ちしております！



VRを使用した避難体験



胸骨圧迫体験

「いのちに力を与える」

「いのちをつなぐ」

やうい
今回は、5月9日（金）に開催しました、大阪ウィーク～春～「未来の消防活動の展示」について紹介しました。
未来の消防活動を体験していただいた来場者の皆さまからは、多くの反響をいただきました。
今回は、大阪ウィークのイベント会場でもある、大阪ヘルスケアパビリオンとの実証実験について紹介します。



※会場内への入場チケットが別途必要です。

詳細は大阪市消防局HP・公式SNS等で発信しておりますので、そちらをご確認ください。

大阪市消防局主催（予定）

【秋】9月11日（木）

「未来の消防活動の展示」（※予約不要）
大阪市消防局・総務省消防庁共催

【夏】7月25日（金）※実施済

「大阪ウィーク」イベント開催日程

いっしょに、いこな！ \2025年 大阪・関西万博／ ～【大阪ウィーク～春～】開催～

大阪市消防局主催「未来の消防活動の展示」

今回の万博のコンセプトは「未来社会の実験場」です。当局では、このコンセプトを体現するべく、万博開催期間中、株式会社モリタホールディングスより協賛されている車両や資器材を使用した実証実験を会場内で行い、未来の消防活動の可能性について探求しています。

大阪ウィークでの「未来の消防活動の展示」は、展示を通じて、来場者の皆様に未来社会を体験していただけるイベントとなっています。



EV指揮車及びDX指揮卓の展示



犬型探索ロボットの展示



未来型外套の展示



西ゲート付近でのEVポンプ車の展示

「大阪ウィーク～春～」のイベント会場では、7月号でも紹介したEV指揮車やDX指揮卓、犬型探索ロボットや未来型外套などを展示するとともに、西ゲート付近にて、EVポンプ車の展示も実施しました。

イベント当日はあいにくの雨でしたが、多くの方に見学・体験していただくことができました。また、外国人の方も非常に興味深い様子でご覧になっていました。

来場者の皆様からは、「ドラマのような見た目がかっこいい」、「こういった資器材が実現すれば、これからはより安心ですね」といった声をいただきました。

今回の未来型車両や資器材の展示を通じて、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」をPRすることができたと考えています。

なお、大阪ウィーク期間以外にも、不定期ではありますが、西ゲート付近にて、EV指揮車やEVポンプ車などの展示を行っていますので、ぜひお立ち寄りください！

新消防艇「まいしま」ってどんな船？

新消防艇「まいしま」は、各種機能の強化を図り、時代のニーズに適合し、さらには、複雑化する将来の災害対応も視野に入れ活動の幅を広げることができるよう製造されました。

乗組員は小隊長、船長、操船員、機関長、機関員、甲板員の計6名です。

船体の大きさは、旧「まいしま」と同程度の大型消防艇であり、航行区域は平水区域であるものの、船体構造は緊急消防援助隊活動に対応するため、沿海区域仕様*となっています。

さらに、陸上災害への対応など、具体的な事態を想定しながら必要な各種機能を装備しており、最新の設備と高い機能で港の安全を守ります。

※有事の際に届出を提出することにより航行可。

最新の設備と機能

放水砲

消防機関最大の毎分2万リットルの放水が可能で最大放水距離は約140メートルに達する羅針甲板放水砲2門、5千リットルの放水が可能な放水砲4門を装備。

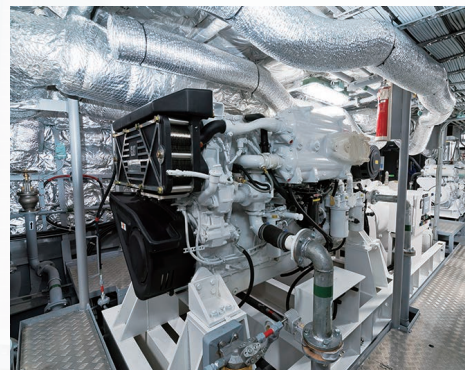
タンカー火災、危険物施設等では化学泡消火装置を用い、大量の泡放射が可能。

海面上20mの高さまで伸縮する放水塔は、大量放水も可能。



消防ポンプ

消防車25台分に相当する毎分5万リットルの送水能力。新たに放水専用のエンジンを装備。



救急処置室

複数の傷病者に対応するため装備



緊急救助スペース

船内に収容した傷病者を消防ヘリコプターの機内へ収容するための、甲板上の専用スペース。新たな装備としてヘリコプター映像受信装置を設け、迅速かつ的確な連携を図ることが可能。



推進方式

プロペラ推進からウォータージェット推進へ変更し、喫水の浅い海域での活動や、救助活動における要救助者及び潜水作業者の活動の安全性向上を図っている。



新消防艇「まいしま」就航!!

大阪市水上消防署に配置の消防艇「まいしま」は平成11年度に建造され、大型船舶火災などの災害に対応するため長きにわたり運用されてきました。今回の更新に伴う装備の強化により、これまで以上に陸上隊との円滑な連携が可能となり、海上アクセスの多様化に伴う様々な船舶事故にも的確に対応できる機能を備えました。

新消防艇「まいしま」就航式

令和7年6月16日（月）に消防艇「まいしま」の就航式を実施し、大阪市長、大阪市の市議長をはじめ、多くの来賓の方々に参列していただき、新たな活躍の期待を受けテープカットなどが行われました。

式典後には、救助連携訓練と消防艇放水訓練を実施しました。さらに、市長、議長、来賓の方々が「まいしま」に乗船し、大阪湾から万博会場付近までの乗船視閲も実施しました。



【救助連携訓練】

1

機動力のある「まいしま」搭載艇での救助活動



2

要救助者を消防艇「まいしま」へ搬送



3

消防ヘリでのホイスト救助



4

消防ヘリに要救助者を収容



【消防艇放水訓練】

フェニックス放水



※ 訓練の様子は動画でもご覧いただけます。



救助連携訓練



消防艇放水訓練

「旧まいしま」から「新まいしま」へ

「旧まいしま」は、平成12年の就航から令和7年までの25年間に、火災29件及び救助・救護235件に出場。船舶火災に加え、沿岸部の火災にも対応しました。

新消防艇「まいしま」は運用開始後からこれまでに、大阪港湾局からの依頼による歓迎放水、大阪・関西万博の海上警戒を実施し、臨海部の安全を担っています。



歓迎放水の様子

(3) 通知機能

「違反処理状況入力アプリ」では、違反処理期限の1カ月前、2週間前、1週間前、当日の計4回、特別査察隊、予防担当司令、担当係員に庁内メールでリマインド通知を送ります。

違反処理期限や公表日などの通知だけでなく、改善計画書や見積書の期日などを是正指導担当者が自由に設定し、リマインド通知を送る機能もありますので、積極的に活用し、時期を失しない指導に繋がってください。

(4) 資料の添付機能

「指導状況入力アプリ」及び「違反処理状況入力アプリ」には、資料を添付できる機能があります。これにより、関係者から提出された改善計画書や見積書、消防局からの警告書や命令書を添付することができます。

是正指導に関する情報をアプリに集約していくことで、進捗管理が容易になりますので、是非、活用してください。

3. アプリの導入効果

違反対象物管理アプリ（VOMA）導入により次の効果があります。

01 情報のスムーズな共有

- ・各消防署の担当者と特別査察隊
- ・各消防署の担当者と管理監督者（副署長や予防司令等）

01

02 進捗管理の「見える化」

- ・違反対象物を一覧で比較
- ・進捗状況をわかりやすく表示
- ・進捗管理を担当者個人ではなく組織で管理

02

03

03 違反是正の実現

- ・指導内容を組織的に管理、是正指導を継続的に実施
- ・時期を失することなく違反処理へ

また、北消防署と中央消防署を対象としたテスト運用（令和6年12月～令和7年3月）において、アプリを活用することで情報共有がスムーズになり、業務効率が向上する、とのアンケート結果を得ることができました。

4. おわりに

違反是正を担当する職員は、違反対象物の関係者に何度も連絡を取りながら、是正の意思を促すことが必要となり、違反是正を実行するために膨大な時間とエネルギーを費やしています。

これからは、このVOMAを積極的に活用し、違反対象物を組織的に管理することで職員個人の負担軽減を図り、より迅速な違反是正を実現していきましょう。

VOMA

違反対象物管理アプリ

(Violated Object Management App of the Fire Service Act)

— 後編 —

1. はじめに

今回は、7月号で紹介しました「違反対象物管理アプリ (VOMA) (以下「アプリ」という。)」の後編としてアプリの機能について紹介します。7月号では前編として、アプリの概要を掲載していますので、7月号から読み進めることをお勧めします。



違反対象物管理アプリ
(7月号前編)

2. アプリの機能

消防職員が違反対象物 is 正指導の進捗管理をするために、アプリには様々な機能を設けています。今回は、その中から4つの機能を紹介します。

(1) kintoneについて

kintoneには、宛先を指定しコメントする機能があります。これを活用することで、消防署の予防担当が入力した指導状況に対し、今回の検査や電話による口頭指導の際に関係者へ確認するポイントなどを予防担当司令や特別査察隊を交えてやり取りすることができます。

また、入力されたコメントは、庁内メールの個人アドレス宛に送付されるため見逃すことはありません。

(2) アプリの連携機能

「指導状況入力アプリ」や「違反処理状況入力アプリ」で入力された情報は、「違反対象物マスターアプリ」の個別画面で時系列ごとに一覧として表示されるため、違反を覚知してから現在に至るまでの指導経過を分かりやすく確認することができます。

多くの情報を共有し、組織的に是正指導していくために、関係者に指導した際は、その都度入力していきましょう。